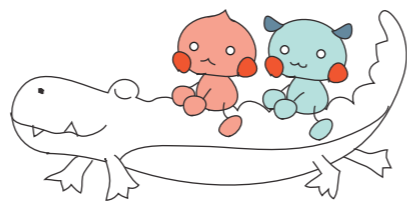
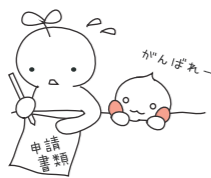


きょうだいの日の はじめかた



しぶたねが「きょうだいの日」をひらくまで

①資金を確保します



まず、1回のイベントを開くのにどれくらいのお金がかかるか試算
します（次のページも参考にしてください）。

しぶたねの活動資金は主に助成金と、寄付していただいたお金で
す。助成金情報は、社会福祉協議会などのお知らせやインターネット
で集めることが多いです。団体の「規約」や活動実績があると、申請
手続きがスムーズになります。

②開催場所の予約をします

しぶたねは、きょうだいさんとあそぶため
の体育館のような広い部屋と、一時保育のた
めの部屋、スタッフ&ボランティアさんの振
り返し会の部屋の3部屋を予約します。予約開
始日は施設によって、1年前、半年前、3か
月前などさまざまです。日曜の午後は人気が
高いので、抽選にならないかどうか、いつも
ドキドキです。

ボランティアさんいつもありがとう

③ボランティアさんの募集をします

だいたい2~3か月前ぐらいから、ボラン
ティアさんの募集を始めます。今はインター
ネットを通じてみつけてくださる方がほと
んどです。きょうだいさんとあそぶシブ
レンジャーさんには事前
打ち合せ会で集まっていた
だき、「きょうだいが持
ちやすい気持ち」につい
てみんなで考えたり、当
日のプログラムを実際
に試してみても改良し
ています。

④当日のプログラムを考えます

しぶたねの「きょうだいの日」のゲームは、アメリカのシブショップの本や、インターネットのサイト、キャンプゲームの本や、学校の先生用のレクリエーションの本などを参考にすることが多いです。簡単なおやつ
の時間と、笑えるゲーム、走り回れるゲーム、声を出せるゲーム、みんなで協力できるゲーム、親子一緒に楽しめる
ゲームが入るように考えています。運動が苦手な子、注目されるのが苦手な子、自己紹介が苦手な子、じっと
しているより走りたい子、クラフトが好きな子、いろんなタイプの子が来ることを想定して、みんなが安心して楽
しく過ごせるよう、アレンジしていきます。

⑤参加者の募集をします

1~2か月前ぐらいから募集を始めます。
しぶたねのきょうだいの日は毎回新たに募
集をしています。ブログやTwitter、
Facebookなどのインターネットを通じた
募集と、小児科のある大きな病院、患者会
や親の会の方などにチラシを送らせていた
だいています。申し込みは郵送とFAXで
お願いしています。

⑥当日の準備をします

招待状の発送、ゲームの準備、おやつ
の材料のチェック、買出しなどを
します。それから、社会福祉協議会
でボランティア行事保険の手続きを
します。しぶたねが加入して
いる行事保険は1人30円で、手
続きには、チラシと、参加者
名簿（名前と年齢）が必要に
なります。
※ボランティア保険の詳細は
お近くの社協でお尋ねくだ
さい。

あとは当日が来るのをワクワク待つよ!



これから「きょうだいの日」をひらくなら…

対象になるきょうだいさんについて

どんなニーズのあるお子さんのきょうだいを対象にするか、きょうだいの年齢をどれぐらいで募集するか、人数は
どうするか、ということをお互いに考えます。しぶたねの場合は、きょうだいの病気や障がいについて話す時間をつく
ていないこともあり、「病気の子どもきょうだい」とざっくりくくって募集をしています。年齢は、幅が広いと、それだけ
プログラムの内容や、説明の仕方など工夫が必要になってきます。大きな子と小さな子が一緒に走ると怪我の危険が
ありますし、大きな子が小さな子に気遣って思い切りあそべなかったり、小さな子のお世話をしないとイヤだと思っ
てしまうことがあるので、年齢差が大きい時は注意が必要だなと感じています。

きょうだいの日をひらくのに必要なお金

会場費

当日の会場、一時保育を同時に行うのならその部屋、きょうだいと親御さんが別々に過ごす
なら、親御さんの控室、ボランティアさんの打ち合わせや反省会の部屋など

あそびの 材料費

風船や大きなボールなどであそぶ時は、数を複数用意しておく、おとなしいタイプの子が
遠慮してあそべないということがなくておすすめです。

高価なおもちゃやスポーツグッズがなくても楽しめるあそびがたくさんあります。走ること、大
声を出すこと、新聞紙や割り箸、ゴミ袋、紙コップなどを使ったおもちゃやゲームもインター
ネットなどですぐに調べることができます。

のみもの おやつ

おやつは必ずしもなくてもよいのですが、走り回るあそびが多い場合、汗をかくので、のみも
のはあった方がよいと思います。しぶたねではノンカフェインの麦茶等を用意し、たくさん走っ
たあと、テンションを落ち着けることも兼ねて、お茶飲んで休憩タイムをつくっています。

おやつやのみものを用意する時は、申し込みの時に食物アレルギーについて教えてもら
うことが必要です。食べる時は感染予防のため、手洗いとアルコール除菌を行っています。

通信費

チラシの印刷費や、それを送るための封筒や切手代、電話代など。
印刷はコピーなら5円コピー、公的な施設で印刷機を貸してくれるところもあり、コピー代より
もかなり安く印刷することが可能です（紙の持ち込みが必要などところが多いです）
郵送ではなくメールでお知らせや申し込みをするようにすれば節約できます。

ボランティア 保険代

子どもが怪我をした時、ボランティアが怪我をした時、誰かを怪我させてしまった時…たく
さん人が集まると、どんなことが起こるかかわからないので、加入をおすすめします。

会場の選び方

しぶたねのきょうだいの日は、体育館や講堂のような広い会場で走り回ることには力を入れています。クラフトやお
料理・お菓子作りなどを行うきょうだいの日もすてきだと思います。内容によって必要な部屋の広さや設備が変わっ
てきます。しぶたねの場合は、きょうだいがあそぶ部屋は300㎡ぐらい、一時保育を行う「おもちゃの部屋」は100㎡ぐ
らいの部屋を借りています（一時保育にしてはかなり広いと思います）。保育の部屋は、病気や障がいのあるお子さんが
来られるので、部屋に入るまでバリアフリーであること（エレベータの有無&広さ、トイレもチェック）、冷暖房があること
（これは開催月を調整すればOKかも）、近くに駐車場があることを条件にして探しています。

会場の選び方（節約編）

都道府県や区や市などの公的な施設（たとえば大阪市なら、市民交流センター、生涯学習センター、ドーンセン
ター、区民センター等があります）、他にも、社会福祉協議会や、ボランティアセンター、NPOセンターのようなところ
が貸室事業をしている場合、低料金で借りられるところが多いです。お住まいの地域の市民会館や、小学校の体育館、
企業の体育館などだと、無料で借りられるところもあるようです（公民館はお葬式が臨時で入ることがあり、きょうだ
いの日の会場には向かないかもしれません）。